

日 時：平成 28 年 2 月 19 日（金） 14:30～15:30

場 所：安城商工会議所 2 階 応接室

出席者…委員長：伊藤一彦（一般社団法人中小企業支援ナビ）  
委 員：児玉征二（碧海信用金庫）、立見大作・小牧信也（株式会社日本政策金融公庫）、  
星野雄大（安城市商工課）  
事務局：岩井初幸・亀岡直樹・吉田央（安城商工会議所）

以上 8 名

## 協議事項

### (1) 経営発達支援計画評価委員会について

- ・評価委員会の役割、評価方法について経営発達支援計画書ならびに資料に基づき事務局より説明。

### (2) 経営発達支援計画概要説明

- ・経営発達支援計画の概要について、経営発達支援計画書に基づき事務局より説明。

### (3) 平成 27 年度事業報告ならびに見直しについて

- ・平成 27 年度の目標数値ならびに実績数値、各種事業参加者アンケート結果について、資料に基づき事務局より説明。

- ・事務局説明に対し、各委員より以下の意見が挙がる。

児玉：計画数値に対し実績数値は概ね良好であり、アンケートの回答内容も良好であることから、経営発達支援計画は順調と言える。

立見：事業メニューの中で特に効果的であると感じるのが合同プレス発表会であるが、どの程度のマスコミを招聘しているのか。

事務局：当日は、毎日新聞社、中部経済新聞社、キャッチネットワークが出席し、後日、出席できなかった中日新聞社にも情報提供している。

小牧：達成率にバラツキがあるものの概ね達成率は良好である。ただ来年度実施しない「ものコン。」の数値目標をどうするかとなる。また創業者数が苦戦しているが、Anjo 創業ファームメンバーであるため、今後創業者を増やしていきたい。

星野：景況調査や経営分析、需要動向などの調査内容を踏まえ、セミナーや施策に反映するとより事業者にも価値のある提供ができる。

- ・以上の意見を鑑み、伊藤委員長より今後の見直し(案)について以下のとおり提示される。

①「ものコン。」を開催しない場合の目標設定については、中部経済産業局に確認が必要である。大幅な変更として計画の見直しが必要な場合には、計画変更を行う。しかし、数値目標対象を「ものコン。」から公益財団法人あいち産業振興機構と共催している「地域商談会」および県内商工会議所と共催している「アライアンスパートナー発掘市」で代替えすることが可能であれば、軽微な修正として発達支援計画の変更はしない。

②セミナーフォロー件数について実績数値が示されていないことから、フォロー実施体制の確立が必要である。現状ではセミナー担当者との連携がとれていない点が課題となっていることから、セミナー担当者との連携構築が必要である。具体的には、セミナー担当者から参加者の対象となる経営指導員に対し参加者情報の提供し、実践セミナーの活用状況の把握、実施支援を行う。